

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市子育てふれあいプラザ泉中央
2	指定管理者	一般社団法人 マザー・ウイング
3	指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 76,320人 (前年度比 93.6%) 内訳 ひろば利用者 50,482人 託児利用者 1,609人 中高生 20,286人 子育て支援者 908人 ホール利用 128件 (3,035人) ※視察等の来館者 790人 平成26年度 84,705人 平成27年度 89,526人 平成28年度 81,511人</p> <p>《事業》 子育てを行う市民に対する交流の場の提供、子育てに関する相談、情報提供等、子育てを総合的に支援する事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 54,398千円 (52,974千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 3,686千円 (3,857千円) ※託児料 ・ 使用料収入 596千円 (922千円) ※ホール使用料 ・ その他収入 538千円 (614千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見箱の設置 ・ イベント開催時に、参加者に対してアンケートを実施

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	子育てふれあいプラザの設置目的に基づいた基本方針を策定し、掲示等により利用者 に周知している。 利用者アンケートの満足度も総じて高く、子育てを総合的に支援し、子育てが安心して できるまちの実現に大きく貢献している。	S
II 施設の運営管理体制	各種マニュアルを整備し、事故や災害発生時にも迅速に対応できるよう体制が明確化さ れている。 個人情報保護や情報セキュリティ対策についても、ソフト・ハード両面について適切な取 組がなされている。	S
III 施設・設備の維持管理	乳幼児が利用する施設として求められる安全性等を十分に理解した上で、遊具等が破 損していないか、温度は適切かなど、館内の状況に常に配慮し、利用者が安全かつ快適 に利用できるよう維持管理を行っている。	S
IV サービスの質の向上	各イベント参加者へのアンケートの実施、利用者懇談会の開催や独自の意見箱の設置 など、意見や要望等を積極的に取り入れ、利用者の視点に立ったサービスの提供を心掛 けている。 職員間においても、業務ごとのマニュアルを整備し、日々のミーティング等で情報共有を 図るなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。	S
V 施設固有の基準	子育てふれあいプラザの設置目的と役割を十分に理解し、利用者のニーズを的確に把握 しながら、乳幼児親子の交流の場の提供(ひろば事業)や子育てに係る情報収集、一時 預かり事業、子育てに関する情報収集、提供事業などを適切に実施している。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（マザー・ウイング）による自己評価》
<p>びすく泉中央の運営を任せていただくことになりました。のびすく泉中央は開館8周年となり充実した活動ができました。この期の中で10周年を迎えることとなります。</p> <p>ひろば事業については、利用者の声を第一に考え、利用者との関係性が深まりました。ひろばボランティア、絵本ボランティアが活動し、地域の人も参加するより充実したひろばとなりました。8周年のお誕生祭には、初の試みとして地域の支援者の方にお手伝いいただき関係性が深まりました。今年度モデル事業として利用者支援事業が始まりましたが、法人の事業と運動させながら自主事業として相談事業や訪問事業を行ってきたことが有機的につながり大きな成果を見ました。相談の件数が前年比3倍にもなりました。</p> <p>年度途中にのびすく若林がオープンし、各区に1館となり改めて「地域ののびすく」として意識するところがありました。また、5館リーフレットの制作委託も受け、のびすく全体の広報に寄与しました。2月には、5館そろって初めての研修のとりまとめも行き、のびすく全体のレベルアップにも寄与しました。</p> <p>託児は、利用者が多い場合の体制について注意をしながら実施しました。他館の例を参考にし昼食時館内の受け入れを変更しました。今年度は事故の発生もなく、安全安心に対してのスタッフの意識も向上しました。また、ひろばと託児の連携から、受け入れやお返し時の声掛けから相談につながることも多くありました。</p> <p>子育て支援事業は計画的に事業をすすめることができました。支援者向け研修では各機関や仙台市外からの参加者もあり手応えを感じました。8年目となった活動見本市も年々充実してきており、他にはこのようなイベントはないことから支援者同士やその利用者との貴重な交流の場となっています。仙台市からの全学的ネットワーク構築事業の委託を今年度も受け、活動支援で担当し、ワールドカフェを開催しました。</p> <p>中高生事業では、利用者が減少傾向にあることを意識しています。ライブを開催したり、大学生ボランティアを導入するなど着実に新たなチャレンジと方向性の中で事業を実施し、成果を得ました。ひろばとの連携では、仙台商業の家庭課実習と社協の夏ボラは継続して受け入れました。中学生の職場体験も4プラと連携しながら行いました。また、長年懸案であった地域懇談会も開催することができ幅広いご意見をいただくことができました。</p> <p>ホールは、料金の値下げを行い利用者増による稼働率の増を狙いましたが逆に収入が大幅に減少してしまいました。リピーターは確実につながっていますが、新規利用者の獲得に課題があり、今後広報活動に力を入れていきたいと考えています。</p> <p>設備は、全体的に老朽化が進み、経年劣化による修理、故障が発生してきています。注意深く様子を見ながらすすめているところですが、空調はコントロールできています。利用者にとって快適な環境を提供できるよう努めました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>子育て経験のあるボランティアを積極的に導入し、その提案を運営に生かすなど、乳幼児親子の目線を大切にしたい運営を心掛けている。</p> <p>また、本市からの委託事業により配置された専門の相談員とともに保育士等のスタッフが様子の気になる保護者に積極的な声かけを行い、その抱えている不安や負担に応じた相談支援や一時預かり等の案内、情報提供等を行っているほか、一時預かり事業においても、保護者の様子に応じてひろば事業の案内や相談支援を行うなど、子育てふれあいプラザにおける各種事業の効果的な相互連携を意識した運営を心掛けている。</p> <p>また、中高生事業では、近隣の学校や児童館との懇談会を開催するなど、地域の関係機関との連携の強化にも積極的に取り組んでいる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部総務課